

報道機関各位

文化財課 市史編さん担当

タイトル 『赤穂市史史料集』第7集の発刊について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	『赤穂市史史料集』第7集の発刊について
日時	令和3年3月24日（水）販売開始
場所・住所	赤穂市教育委員会 市史編さん室 赤穂市加里屋中洲3-56
趣旨・目的（PRしたいこと）	<p>『赤穂市史史料集』シリーズは、『赤穂市史』や『忠臣蔵』の史料編に紙幅の都合などで収録できなかった史料を幅広く取り上げて活字化し、後世に伝え残していくため、平成26年度より刊行を行っているものである。</p> <p>今回発刊する第7集は、第3集～第6集に引き続き赤穂市指定文化財である「真光寺旧蔵・柴原家文書」のうち「年中用事控」全26冊を完全活字化して収録する第5冊として作成したもので、3月24日（水）より販売を開始する。</p> <p>なお、第3集～第7集により、「年中用事控」全26冊のうち22冊が活字化された。令和3年度刊行の第8集で残り4冊を収録して活字化が完了する予定。</p> <p>※冊子納品3月22日（月）、冊子配布3月22日～23日の予定</p>
問い合わせ先	部課係名：教育委員会 文化財課 市史編さん担当 担当者名：小野 電話：0791-43-6848 内線（ ） F A X：電話番号に同じ

添付資料（有）

○ホームページへの掲載（有）無）

## 『赤穂市史史料集』第7集の発刊

赤穂市の修史事業は昭和52年に始まり、昭和56年9月の『赤穂市史』第1巻発刊を皮切りに、平成26年1月の『忠臣蔵』第7巻に至るまで、37年の長きにわたり、『赤穂市史』全7巻、『忠臣蔵』全7巻を編集・発刊して完結した。

『赤穂市史』『忠臣蔵』の編集にあたっては、国内外の多くの史料所蔵者の理解と協力を得て、膨大な史料の情報を集積することができた。しかしながら、これら赤穂の歴史を物語る史料、赤穂事件や忠臣蔵に関する史料の収録は、限りある紙幅の中では、やむなく割愛したり、部分的な収録に留めざるをえなかったものも少なくない。

そこで、『市史』や『忠臣蔵』の史料編に収録できなかった貴重な史料を幅広く取り上げ、末永く後世に伝え残していくため、平成26年度より『赤穂市史史料集』シリーズの刊行を開始した。本シリーズの刊行により、郷土赤穂の歴史や赤穂事件・忠臣蔵の研究の進展に寄与することを企図するものである。

1. 名 称 『赤穂市史史料集』第7集（「真光寺旧蔵・柴原家文書 年中用事控（V）」）
2. 本の体裁 A5判 428ページ
3. 発行部数 1,000部（内販売分 800部）
4. 内 容 塩屋村にあった柴原家は近世の赤穂を代表する豪商で、広大な塩田を所有して塩問屋や木問屋などを営み、藩の蔵元役として藩財政の一翼も担っていた。「年中用事控」は江戸中期から幕末に至る柴原家の記録で、26冊からなる。記載内容は、藩蔵元役や塩田地主、塩問屋、廻船に関するものなど多岐にわたり、赤穂藩と蔵元役の関係・動向を把握するうえで重要な史料である。第3集～第6集に続いて「年中用事控」全冊を完全活字化して収録する5冊目。今回で26冊中22冊を活字化。
5. 販売価格 450円（送料別途）
6. 販売場所 赤穂市教育委員会 市史編さん室  
赤穂市加里屋中洲3-56 TEL/FAX. 0791-43-6848
7. 販売開始 令和2年3月24日（水）

### （参考）

- ・第1集「赤穂藩森家諸役姓名録」 A5判 162ページ 1冊 250円（送料別途）
- ・第2集「赤穂藩森家分限帳集」 A5判 82ページ 1冊 200円（送料別途）
- ・第3集「年中用事控（Ⅰ）」 A5判 228ページ 1冊 350円（送料別途）
- ・第4集「年中用事控（Ⅱ）」 A5判 300ページ 1冊 350円（送料別途）
- ・第5集「年中用事控（Ⅲ）」 A5判 318ページ 1冊 400円（送料別途）
- ・第6集「年中用事控（Ⅳ）」 A5判 330ページ 1冊 350円（送料別途）

### 今後収録予定の史料

- ・真殿村検地帳
- ・御廻状御用書留帳
- ・明治二十五年赤穂郡洪水誌
- ・誠忠義臣略伝＋忠臣銘々画伝
- ・綿屋文書（義士書状集）
- ・尋常高等小学校郷土調査
- ・義士夜討高名咄
- ・赤城風雅
- など

『赤穂市史史料集』第7集収録「年中用事控」第19冊～第22冊の主な内容

○蔵元関係

- ・天保・弘化・嘉永期、赤穂藩財政は危機的状態にあり、藩は蔵元・御用達に対して再三再四資金の融通を要請している様子がうかがえる。
- ・嘉永2年（1849）藩は蔵元・御用達を財政再建に参画させている。
- ・蔵元・御用達が藩の収支帳面を調査したところ、赤字で、借財高は新古あわせて27万両あまりとわかり、途方にくれる様子がうかがえる。
- ・このような状況下で、江戸での借財の借り替え資金調達問題、嘉永3年の江戸藩邸消失による再建資金調達問題などが発生し、蔵元・御用達らは多額の資金提供を余儀なくされている。
- ・藩財政への協力に対して、再三森家紋付の衣類や品物が下賜されたり、扶持を与えられるなどしている。
- ・蔵元役の職務上関わりの多い藩人事の記事も多く見られる。
- ・藩主森家の家督や慶弔、参勤交代や来臨に関する記事も多い。  
天保11年（1840）には藩主森忠徳が領内の宮相撲取りを呼び集めて柴原家に立ち寄り、柴原家では土俵をつくって対応している。

○塩田・塩関係

- ・天保9年藩を通じて要請のあった対馬藩への大俵塩（差塩）の販売を始め、新規の塩販売ルートの開拓が図られている記事がある。
- ・製塩の好景気を受けて、天保9年藩は東西浜人に対して御用金賦課を指令している。
- ・天保から弘化期、藩は古浜塩（真塩）の石炭焚きを免許している。
- ・弘化4年（1847）藩は塩業全般にわたる取締令を出している。

○塩廻船関係

- ・柴原家持船の新造にともなう「国印請」（船の運航許可にかかる検査）の記事が随所にある。
- ・柴原家持船の難船・破船に関する記事も随所に見られる。
- ・弘化3年に出された運航に関する「船手条目」が記載されている。

○その他柴原家の家業関係

- ・製塩燃料を扱う木問屋の間屋株料に関する記事がある。
- ・酒造道具改めや幕府からの酒造鑑札交付の記事がある。
- ・質業の開業について、100年以上になるが明確な記録がないので、正徳3年（1713）から始めたことにしたという記事がある。

その他

○触書

- ・幕府の天保の改革や、藩の財政改革にともなう、多岐にわたる質素儉約令をはじめとする触書が数多く写されている。

○塩屋村関係

- ・村の難澁者に対して、柴原家はしばしば米の施行売りや炊き出しを行っている。

- ・村役の交代に関する記事がある。
- ・嘉永2年（1849）藩が村々に命じた不時への備蓄の積立金の記事がある。
- ・自然災害や火事に関する記事が随所に見られる。

#### ○柴原家関係

- ・当主や家族の慶弔関係も数多く記載されている。
- ・屋敷などの普請に関する記事もある。
- ・縁者で肥前国平戸の尾崎家が尾崎の八幡宮に奉納した唐船の絵馬修復に関する記事がある（これについては、巻末付録に関連史料をまじえて紹介）。
- ・伊勢参宮や讃岐・金刀比羅宮への石燈籠寄進、有馬入湯などの記事もある。
- ・領外から家族を迎えるにあたっての諸手続の文書が控えられている。

詳細な内容は、巻末の解説「柴原家と『年中用事控』（その5）」に記載している。

# 『赤穂市史史料集』シリーズ 第7集を刊行!!

平成26年度より刊行を始めました『赤穂市史史料集』シリーズの第7集を発刊し、下記のとおり販売を開始いたします。

今後も、本シリーズが郷土赤穂の歴史や赤穂事件・忠臣蔵の研究の進展に寄与することを願い、逐次シリーズの充実に努めていきますので、どうぞご期待ください!

## 第7集は「真光寺旧蔵・柴原家文書 年中用事控(V)」

令和3年3月24日(水) 発売

塩屋村にあった柴原家は近世の赤穂を代表する豪商で、広大な塩田を所有して塩問屋や木問屋などを営み、藩の蔵元役として藩財政の一翼も担っていました。

「年中用事控」は江戸時代中期から幕末に至る柴原家の記録で、26冊からなります。記載内容は、藩蔵元役や塩田地主、塩問屋、廻船に関するものなど多岐にわたり、赤穂藩と蔵元役の関係・動向を把握するうえで重要な史料です。今回は「年中用事控」全冊を完全活字化して収録する第5冊です。

- 頒布価格 1冊 450円(送本希望の場合、1冊あたり送料300円)
- 本の体裁 A5判 428ページ 本文用紙は中性紙を使用
- 頒布場所 赤穂市教育委員会 市史編さん室

### 〈好評既刊〉(各送料別)

第1集「赤穂藩森家諸役姓名録」	A5判	162ページ	1冊	250円
第2集「赤穂藩森家分限帳集」	A5判	82ページ	1冊	200円
第3集「年中用事控(I)」	A5判	228ページ	1冊	350円
第4集「年中用事控(II)」	A5判	300ページ	1冊	350円
第5集「年中用事控(III)」	A5判	318ページ	1冊	400円
第6集「年中用事控(IV)」	A5判	330ページ	1冊	350円
『忠臣蔵』全7巻(分売不可)	A5判上製本	揃	32	1000円
『赤穂史百話』(データCD付)	A5判	408ページ	1冊	700円
『赤穂市史』全7巻セット完売。分売：第3巻 4,000円、第6巻 4,200円、第7巻 3,200円				

赤穂市教育委員会 市史編さん室

〒678-0233 赤穂市加里屋中洲3-56(市民会館西隣、旧市立図書館1階)

TEL/FAX. 0791-43-6848 Eメール shishi@city.ako.lg.jp